

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズリオン ジョイ		
○保護者評価実施期間	2026年2月9日		~ 2026年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 13
○従業員評価実施期間	2026年2月9日		~ 2026年2月20日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご家族、関係機関との情報共有を密に取り組み、日々のお子様の成長、嬉しかったことを伝えられている。	送迎時の申し送りだけでなく、連絡帳アプリを使い、写真のような視覚的なものをご様子をお伝えしたり、小さなご成長をお伝えしようと思意識している。	ご家族、関係機関での取り組みなどジョイでも取り入れられることなどご留意し、お子様の活動選択の幅を広げたり、お子様の自信に繋がられるような体制を作っていきたい。
2	ホール内の室数が多く、パーソナルエリアを確保しながらの支援提供、カウムダウン室などでの気持ちの切り替えなどできる環境にある。	お子様のコンディション、気持ちを汲み取りながら、落ち着いて過ごせる環境を日々検討している。	お子様から自発的にカウムダウン室の利用や気持ちの表出、ヘルプサインが出しやすい視覚支援や選択肢を用意していきたい。
3			

	事業所の弱み(※) と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	粗大運動の提供について、大きなフロアスペース確保に工夫が必要となっている。	室数が多く、個別対応しやすい環境ではあるが、大きく走ったり動き回るスペース作りには机の配置など変更が必要。	活動に応じて臨機応変に机配置の変更など事前に検討し、配置変えを実施していく。
2	ホール内の室数が多いため、各スペースへの支援員の見守りの目が必要なケースが多い。	限られた支援員数のなかで、お子様の気持ちに寄り添ったスペース活用を進めた時に、支援員の見守りの目が不足する場面がある。	安全なサービス提供が第一優先であり、見守りの目の数や、お子様1人1人の気持ちのバランスを見ながら、サービス提供を工夫していきたい。
3			